

令和4年度 事業報告書

社会福祉法人飯能市社会福祉協議会



令和4年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
【法人運営部門】		
(1) 会務の運営		
① 役員会等の開催		
(ア) 理事会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催回数 4～6回</li> <li>・議案に対する意見集約が適切に行えるよう、書面決議とせずオンライン併用による開催とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4回開催 (資料編P1～参照)</li> <li>・出席率 90.6%</li> <li>・提案事項 計42議案 可決同数</li> <li>・報告事項 計8件</li> </ul>
(イ) 監事会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催回数 1回</li> <li>・決算時期に他の役員会が滞りなく行われるよう、時期に注意して実施</li> <li>・監事から活発な意見がいただけるよう、資料などに配慮する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1回開催</li> <li>・県の示す監事監査のチェックポイントを元に説明</li> <li>・人材確保の重要性、成年後見事業余剰金の活用方法等について意見をいただいた。</li> </ul>
(ウ) 評議員会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催回数 3～4回</li> <li>・議案に対する意見集約が適切に行えるよう、書面決議とせずオンライン併用による開催とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3回開催 (資料編P3～参照)</li> <li>・出席率 70.3%</li> <li>・提案事項 計24議案 可決同数</li> <li>・報告事項 計3件</li> </ul>
(エ) 評議員選任・解任委員会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催回数 適宜</li> <li>・前任評議員の辞任に際し、つつがなく会務が運営されていくよう配慮しつつ実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2回開催 合計4名を選任</li> </ul>
(2) 人材育成		
① 職員の資質向上のための仕組みの構築		
(ア) 職場研修推進会議の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催回数 適宜</li> <li>・外部研修などの情報提供 適宜</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人研修計画オンラインフォーラムで適宜情報を共有した。</li> </ul>
(イ) 職員の資格取得の支援 (補助金交付等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の自己啓発を支援し、資質向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実績なし</li> </ul>

令和4年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
② 職場研修の充実 (ア) 全体研修の開催 (イ) 職員の自己啓発活動の支援（補助金交付等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催回数 1回</li> <li>・職員全員が共通認識し、スキルアップ、一体感の醸成、コミュニケーション、連携する意識の恒常を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1回開催</li> <li>・職員全員で共有すべきハラスメント対策研修を実施。</li> <li>・欠席者にも情報共有できるようオンラインで実施し、後日動画配信した。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の自己啓発を支援し、資質向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉士の資格取得補助1件</li> <li>・昇任試験の自己啓発支援1件（施設利用）</li> </ul>
	③ 専門職を目指す人材の育成 (ア) 社会福祉現場実習の受入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会で活躍できる専門職を育成すべく、可能な限り実習生を受け入れる。</li> </ul>
(3) 財務		
① 財源確保 (ア) 地域福祉基金の運用 (イ) 有料広告事業者の募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉基金を安定的に運用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金利上昇により債券単価が下落傾向にあるが、利息は約定のため定期的に収入があることから、引き続き満期保有を前提に運用を行う。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉活動の推進に必要な財源の確保及びホームページの充実に必要な資金の確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掲載数 0件</li> </ul>
② 会費制度への理解促進と会員の増強 (ア) 一般会費（対象：一般世帯） (イ) 特別会費・団体会費（対象：個人、事業者等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会を通じて、広く市民に本会の目的の趣旨に賛同いただき、一般会員としての支援を得る。</li> <li>・生活保護世帯を除く自治会加入1世帯あたり200円。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全市24,883世帯</li> <li>・総額4,868,600円</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本会の目的の趣旨にご賛同いただき、財政面で地域福祉活動に参加していただく。</li> <li>・前年度協力先に、前年度実績での協力を依頼（特別会員：1,000円/口、団体会員：15,000円/口）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別会員1,027,000円、団体会員45,000円、ほぼ前年度同水準の協力を得られた。</li> </ul>

令和4年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
(4) 職員の福利厚生		
① 職員の健康管理		
(ア) 衛生委員会の定期開催	・法的義務。健康障害の防止を図るため職場の衛生に関することについて調査、審議、対策の樹立。	・開催7回（フォーラム形式6回、参集1回） ・参集開催時は、本会で今年度発生した労働災害について情報共有及び意見交換を実施した。
(イ) 職員健康診断及びストレスチェック制度の実施	・法的義務。職員の健康状態、ストレスの程度を把握し、職員自身の体調変化への気付きを促すとともに職場改善につなげ働きやすい職場づくりを進めることで職員の健康増進及びメンタルヘルス不調を未然に防ぐ	・10月 飯能市職員が実施する職員定期健康診断により、人間ドックを受検者を除く全ての職員が受検した。 ・人間ドック受検促進の結果、9人が受検した。またこれらの職員に対して、受検補助金交付要領に基づき、補助金を交付した。
(5) 第3次発展・強化計画への取組み及び進捗管理【重点事業】		
① サービス、活動の強化		
(ア) サービスの質の向上	①業務標準化PTによる検討 ②事例検討会の実施	①未実施 ②職員から事例提供を受け、合計7回実施した。
(イ) 広報の強化	①ふくしの森サポーターを対象としたSNS等による情報発信の充実 ②広報紙のリニューアル ③企業向け広報紙の発行	①LINE公式アカウントでふくしの森サポーター向けの情報を11回発信した。 ③企業に向けた広報紙の発行に関する検討を行った。

令和4年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
② 働きやすい職場環境の整備		
(7) 業務の合理化、効率化	①事務局組織機構のあり方の検討 ②事務局組織機構の改革 ③職務権限規程の制定 ④文書管理規程の見直し ⑤業務標準化PTによる検討（再掲）	①②③未完 令和5年度から2年間かけ組織体制の見直しを行うこととし、その基礎資料とすべく、県内39市社協にアンケート調査を実施した（回答30市社協）。 ④実態に即した規程とすべく改正案を3月理事会に上程し、承認を得た。
(4) 働きやすい職場づくり	①事業計画説明会の実施 ②職員の健康と安全の確保に関する取組の検証（1回） ③ワークライフバランスの取組みの検証（1回） ④個別面談の実施（2回） ⑤サービス利用者等からの外部評価の導入 ⑥メンタルヘルス、ハラスメント防止のための相談窓口の設置 ⑦福利厚生事業の再編	①他系の業務理解及び事務局内の連携を目的に1回実施した。 ②衛生委員会において、労働災害案件の検証を実施、及び職員緊急時の連絡先が明らかになるよう「緊急連絡カード」導入を検討した。 ③法改正に則り、9月開催理事会に育児・介護休業等に関する規程の全部改正を上程し、承認を得た。 ④非常勤職員とは春、秋の2回、常勤職員とは春に1回実施した。 ⑤不実施 ⑥職員4名と理事2名をハラスメント等に関する窓口担当者として指名した。 ⑦福利厚生事業検討の基礎資料とすべく、県内39市社協にアンケート調査を実施した（回答30市社協）。

令和4年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
③ 組織基盤の強化 (ア) 社会福祉法人組織としての体制整備	①会長職のあり方に関する検討と方向性の決定 ②就業規則等の精査	①令和5年度から2年間かけ組織体制の見直しを行うこととし、その基礎資料とすべく、県内39市社協にアンケート調査を実施した（回答30市社協）。 ②就業規則の改正により齟齬が生じていた職員の給与に関する規程について、9月理事会に一部改正案を上程し、承認を得た。 その他、法改正に対応していなかった個人情報保護に関する規程の改正及びデジタル化推進の実態に即した規程とすべく文書管理規程の改正案を3月理事会に上程し、承認を得た。
④ 計画の進捗管理 (ア) 計画の適切な推進の取組み	①年間スケジュールの作成 ②四半期ごとの進捗管理の実施 ③「次年度方針決定会議」の設置及び開催 ④市民への公表	・事業報告のホームページ掲載により情報を発信した。
(6) その他の事業		
① 法外援護事業 (ア) 火災見舞金の支給 (イ) その他の法外援護	・火災により損害を負った世帯への見舞金の支給により、生活の立て直しの一助とする。 ・本会が住民のセーフティネット機能を果たしていくために、不測かつ生命の危機に窮する事態に対応する。	・火災見舞金2件（全焼相当）を対象世帯に交付した。 ・不測の事態は発生しなかったため、交付なし。
② 団体事務 (ア) 飯能市老人クラブ連合会 (イ) 飯能市身体障害者福祉会	・会の自立運営のための側面的支援 ・会の自立運営のための側面的支援	・総会事務（書面表決）を実施した。 ・グラウンドゴルフ大会事務（秋）を実施した。 ・感染症蔓延のため、活動が行えていない状況にある。 ・総会事務（書面表決）を実施した。
③ 補助金の交付 (ア) 地域福祉活動等推進事業補助金	・市民による地域福祉の向上を目的とした活動の奨励	・申請のあったボランティア団体1団体に補助金を交付した。

令和4年度事業計画		計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
	(イ) 社会福祉団体補助金	・市内において活動する社会福祉団体の活動の支援	・申請のあった社会福祉団体2団体に補助金を交付した。
④	危機管理体制の強化		
	(ア) BCPの策定	・大規模災害等非常時に備えた、事務事業継続計画の策定	・不実施

令和4年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
【地域福祉部門】		
(1) はんのうふくしの森プラン推進事業		
① 第3次はんのうふくしの森プランの進行管理及び第4次はんのうふくしの森プランの策定		
(ア) 地域福祉活動計画推進委員会の開催 (年5回/市と合同開催)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3次はんのうふくしの森プランの進行管理及び評価</li> <li>・第4次はんのうふくしの森プランの協議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催回数 3回</li> <li>・委員構成 (学識経験者・知識経験者) 15人</li> </ul> [主な協議事項] <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3次はんのうふくしの森プラン令和3年度実績報告</li> <li>・第4次はんのうふくしの森プラン市民意識調査の実施等</li> </ul>
(イ) はんのうふくしの森プラン推進市民会議の運営 (年6回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はんのうふくしの森プラン推進市民会議主体による学びの場の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催回数 6回 (偶数月)</li> <li>・下記2テーマについて「学びの場」をオンラインにて開催した。</li> <li>①空き店舗を活用した居場所づくり (7/5, 7/21)</li> <li>②子どもの居場所づくり (1/21)</li> </ul>
(ウ) 飯能市地域福祉活動計画プロジェクトチームの開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本会職員において構成され、はんのうふくしの森プランの推進及び策定に関する重要事項の協議の場とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域共生プロジェクトチーム (令和4年4月設置) による本会内における取組を協議した。</li> </ul> [主な協議事項] <ul style="list-style-type: none"> <li>・第4次はんのうふくしの森プランの策定について</li> <li>・重層的支援体制整備事業に関する調査・研究</li> </ul>

令和4年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
(エ) 飯能市との定期的な協議の場の設置	第4次はんのうふくしの森プラン策定に関する協議の場とする。	・飯能市との協議検討を定期的実施した(計31回)。
(オ) 第4次はんのうふくしの森プラン策定に係る市民意識調査の実施	飯能市との合同実施とし、コンサルを導入する。 市民、市内福祉関係事業者とその職員、市内児童生徒とその保護者及び企業、個人商店、ボランティア団体等を対象に、地域福祉に関するアンケート調査を実施する。	[地域福祉に関するアンケート] ・一般市民向け (対象) 18歳以上の市民 : 2,000人 ・児童・生徒生徒向け (対象) 小学5年生及び中学2年生 : 1,091人 ・保護者向け (対象) 上記対象児童生徒の護者 : 1,091人 ・ボランティア団体向け : 107団体 ・福祉関係事業所向け : 219事業所 ・福祉専門職向け : 47件※回答者数 ・企業向け : 300件 ・個人商店向け : 100件
(カ) 圏域別地域福祉活動計画の策定	第5次飯能市地域福祉活動計画の策定の柱として、圏域別による地域福祉活動計画の策定を行い、地域の実情に合った目標を立案する。	・地域福祉推進組織もしくは第2層協議体などの場において、全ての圏域で検討を開始した。 ・全職員が主体的に計画策定に関われるよう、地区割して対応した。

令和4年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
② はんのうふくしの森プランに基づく事業の推進	(ア) ふくしの森サポーターの養成及び普及 ・ はんのうふくしの森みらいカレッジ (ふくしの森リーダー養成研修) の実施 ・ SNSによるふくしの森サポーター向けの情報発信  (イ) はんのうふくしの森プランの周知 ・ ポータルサイト「はんのうふくしの森へようこそ!」の運用及び充実 ・ ふくしの森ステーションにおけるタブレットを活用した情報発信 ・ ふくしの森プランクリアファイルの配布  (ウ) 地域における公益的な取組の推進 ・ 社会福祉法人地域公益活動等連絡会の支援及び参加	・ はんのうふくしの森みらいカレッジ (ふくしの森リーダー養成研修) 開催回数 1回 参加者数 9人 ・ LINE公式アカウントでふくしの森サポーター向けの情報の発信 11回  ・ 「はんのうふくしの森へようこそ!」「Ayamu地域介護」の運用により、地域資源を325件掲載した。 ・ ふくしの森ステーションにおけるタブレットを活用した情報発信 不実施。 ・ 適宜ふくしの森プランクリアファイルを配布により、プランの周知を図った。  ・ 社会福祉法人地域公益活動等連絡会運営の支援 [会議開催の支援] 幹事会 5回 定期総会 1回 [事業実施の支援] ・ 生活に困っている方を対象に食品や日用品等を無償提供する「あったか♡バンク飯能」 開催回数 1回 ・ 福祉学習への協力 小学校 3校 ・ 中学校 1校

令和4年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
(2) コミュニティソーシャルワーク事業		
① コミュニティソーシャルワーク機能の強化		
(ア) コミュニティソーシャルワーカーの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・増員に向けた行政との協議の場の設置</li> <li>・コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修（地域福祉研究所主催）の受講</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度予算に向けて担当課と調整を実施した。</li> <li>・地域共生プロジェクトチームにおいて重層的支援体制整備事業における本会の取組方法について検討した。</li> <li>・コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修（地域福祉研究所主催）の受講 STEP1 1名 ・ STEP2 1名</li> <li>・CSW活動状況 （資料編P5～参照）</li> <li>・CSW相談対応件数 合計 450件 （前年比 12%増） （資料編P12参照）</li> </ul>
(イ) ふくしの森ステーションの機能強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふくしの森ステーションの体制整備及び機能充実</li> <li>・車いすちょい貸し事業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふくしの森ステーション増設に向けた担当課との調整</li> <li>・車いすちょい貸し事業 利用件数 8件</li> </ul>

令和4年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
(ウ) コミュニティソーシャルワーカー及びふくしの森ステーションの周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふくしの森ステーションだよりの発行 (隔月)</li> <li>・SNSを活用した周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふくしの森ステーションだよりの発行  <ul style="list-style-type: none"> <li>かじ (回覧) 6回</li> <li>みすぎだい (回覧) 6回</li> <li>みなみこま (全戸) 6回</li> <li>あがの (全戸) 6回</li> <li>ひがしあがの (全戸) 6回</li> <li>はらいちば (回覧) 6回</li> <li>なぐり (全戸) 12回</li> </ul> </li> <li>・CSW及びふくしの森ステーションの情報をインターネット (SNSやHP) で周知した。</li> <li>・本会と関わりのある会議やイベント、共募事業などでオリジナルクリアファイルを配布した。</li> </ul>
(エ) 相談支援機関との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区別連携会議の実施</li> <li>・民生委員児童委員協議会との連携強化</li> <li>・地域ケア会議への出席</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区別連携会議の実施  <ul style="list-style-type: none"> <li>実施地区 6地区</li> <li>飯能中央、南高麗、吾野、東吾野、原市場、名栗</li> </ul> </li> <li>・適宜、地区民生委員児童委員協議会定例会に出席し情報共有等を図った。</li> <li>・地域型、課題解決型地域ケア会議に随時出席し、地域情報等を提供した。</li> </ul>

令和4年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
② 地域福祉推進組織の支援	(ア) 地域福祉推進組織の活動支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・CSWによる技術的支援</li> <li>・補助金交付による財政的支援</li> <li>・組織運営、事業実施、組織設立等に必要な情報の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CSWによる技術的支援</li> </ul> 会議開催の支援、新規活動の立ち上げ支援、イベントや研修会等の開催支援、補助金申請等各種手続きに係る支援、その他各種連絡調整等を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金交付による財政的支援</li> </ul> 7組織 計 2,443,657円 (資料編P13参照)
	(イ) 地域福祉推進組織交流会の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍をふまえ代表によるオンライン方式 (年2回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催回数 1回 (8月)</li> <li>・全7組織から各代表者が出席し、コロナ禍における各組織の活動状況、今後の展望などについてオンラインで情報交換を実施した。</li> </ul>
(3) 小地域福祉活動推進事業		
① 静かな見守り活動の推進	(ア) 静かな見守り活動の実施 (各地区民生委員児童委員協議会共催) <ul style="list-style-type: none"> <li>・静かな見守り活動事業助成金の交付</li> <li>・見守り協力員への事業啓発品の配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各CSWが地区民生委員児童委員協議会定例会に出席し、連携を強化し、見守り対象者リストの随時更新を依頼及び助成金を交付</li> </ul> 見守り対象者リスト掲載件数 507件 (前年比 7%減) (資料編P13参照) <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成金交付</li> </ul> 2地区 15,756円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・見守り協力員に対する事業啓発品の配布</li> </ul> 年2回、計655個

令和4年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
② 地域の居場所づくりの推進 (ア) ふれあいいきいきサロンの開催・支援 (イ) 地域型ふれあい食事会の開催・支援	・登録団体への事業費の交付及びCSWによる技術的支援、情報提供 ・新規立上げ団体への支援 ・地域福祉推進事業費を交付による活動支援	・登録団体数 12団体 ・参加総数 2,301人 ・事業費交付額 207,000円 ・その他、子どもの居場所づくりを目的とした新規活動団体への助言、補助金申請の支援等を実施した。 (資料編P14参照) ふれあい交流室なぐりえんカレー食堂、笑顔のカレーの会共に活動休止中のため事業費の申請が無かった。
③ 生活支援活動の推進 (ア) 移動販売事業の実施 共催：セブン・イレブン日高下川崎店 (イ) 食材のおすそわけ会の開催・支援 (生活クラブ生協飯能支部共催、その他企業等の協力により実施)	・共催者が買い物支援を要する地域にて移動販売を実施 ・CSWが随行し、利用者の見守り・ニーズ把握等を実施 ・共催者に対する燃料代の一部負担 ・実施コース 6コース (精明・中山/名栗・原市場/中沢・中藤(小岩井)/吾野/南川/岩沢) ・共催団体及び企業等の寄付による食料品の無償提供 対象：生活困窮世帯 (詳細要件なし) ・CSW同席により、必要に応じた相談支援の実施	・実施回数 131回 ・利用者数 4,131人 (前年比 3%減) (資料編P15参照) ・燃料代一部負担 109,500円 ・実施回数 12回 ・延利用者数 464世帯 (前年比 25%増) ・主な食糧寄付者 生活クラブ生協飯能支部/ホンダカーズ埼玉西東飯能店他
(4) 生活支援体制整備事業 (飯能市受託事業)		
① 第1層における取組		
(ア) 話し合いの場 (協議体) の開催 (6回)	市全域の課題を抽出し、解決方法 (取組内容) を協議する。	・6回開催 ・住民主体の活動を広げるための手法について、グループワークで検討した。
(イ) 支え合いの仕組みづくり	地域において、必要性が高まった時点で協議を始める。	未実施
(ウ) 第2層の取組への支援	・第2層協議体に参加し、状況を把握する。 ・第1層協議体の情報を提供する。	各圏域で開催されている第2層協議体に参加し、情報収集を行った。

令和4年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
② 第2層における取組	(ア) 話し合いの場（協議体）の設置及び開催（13圏域） <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象 市民、地域活動団体、事業所等</li> <li>・生活支援コーディネーターが中心となり、第2層協議体の立ち上げ及び運営</li> <li>・新たな地域活動の創出、地区別地域福祉活動計画の策定等</li> </ul> (イ) 地域支え合い活動の推進及び支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣市町的生活支援コーディネーターと合同で協議体委員や地域活動者を対象とした研修会を開催</li> <li>・生活支援体制整備事業における訪問型サービスBの活動に取り組む団体を対象とした交流の機会を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いの場の実施圏域数 13圏域 うち、第2層協議体にて実施 10圏域 うち、地域福祉推進組織にて実施 3圏域</li> <li>・主な協議内容 地区別地域福祉活動計画について 生活支援活動実施の検討</li> <li>・訪問型サービスB実施団体間の交流、連携を支援した。</li> <li>・同団体定例会等への随時参加し、技術的支援及び情報提供を行った。</li> <li>・同団体が主催する研修会等の開催を支援した。</li> <li>・近隣市町による活動紹介動画を作成した（3市3町SC合同製作）。</li> </ul>
③ 地域包括ケア支援システムの運用	(ア) 地域包括ケア支援システムの運用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「Ayamu地域介護」の運用（飯能市委託事業）</li> <li>・地域の社会資源情報のマップ化</li> <li>・掲載情報を充実及び利用事業所の拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掲載件数 325件 （3月末現在）</li> <li>[内訳]</li> <li>相談窓口 31件 ・ 介護施設 48件</li> <li>医療機関 94件 ・ 地域交流 126件</li> <li>生活支援 16件 ・ 移動支援 5件</li> <li>ボランティア団体 12件</li> <li>※重複登録あり</li> </ul>

令和4年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
(5) 福祉教育推進事業		
① 社会福祉協力校・ボランティア推進校指定事業の実施		
(ア) 社会福祉協力校・ボランティア推進校指定事業の実施 ・補助金の交付 ・福祉教育担当者研修会の開催	・指定校への補助金の交付 ・福祉教育担当者研修会の開催 (飯能市教育センター共催)	・社会福祉協力校・ボランティア推進校指定校補助金 指定数 小学校 6校 ・ 中学校 3校 補助金額 219,205円 ・福祉教育担当者研修会 開催回数 1回 参加校 12校 (小学校8校/中学校4校) ・学校で行われる福祉学習支援 小学校 9校・中学校 2校・大学 1校 [支援内容] プログラム作成 ゲストティーチャー調整 体験指導及び用具貸出 ほか
(6) ボランティアセンター運営事業		
① ボランティア・市民活動支援事業		
(ア) ボランティアセンターの在り方の検討 (基本方針・体制・事業)	・基本方針の決定及び事業方針を年度内に決定する。	・ボランティアセンター運営委員会及び事務局内部で基本方針 (案) の検討を重ね、3月開催の運営委員会にて最終決定した。
(イ) ボランティアセンター運営委員会の開催 (3回)	・年3回開催予定。	・計4回開催
(ウ) ボランティア交流会の開催	・年1回開催。	・ボランティアセンター運営委員会で協議し、令和4年度は中止とした。
(エ) ボランティア・しみん活動・ちいき情報「JOYJOY」の発行	・毎月1回発行。	・毎月1回 計12回発行

令和4年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
② ボランティア育成事業 (ア) 彩の国ボランティア体験プログラムの実施 (イ) 各種ボランティア講座の開催 (ウ) 共学支援ボランティア講座の開催	・7月～8月に開催 ・主に若年層を対象に活動機会を提供 ・参加者100名、延べ参加人員120名 ・市民ニーズをキャッチによる、地域に必要なボランティアの育成。 ・主催である狭山特別支援学校に協力。	・企画メニュー数：18 ・実施メニュー数：10 ただし、新型コロナウイルス感染症の拡大により4メニュー中止、4メニューは申込みなし。 ・延べ参加者数49名 (資料編P21参照) ・保護猫ボランティア養成講座を開催 受講者数 4名受講 講座終了後、受講者2名が保護猫ボランティアグループに加入した。 ・5月～7月に4回実施。(1回中止)
③ 災害に向けた取組 (ア) 災害ボランティアセンター設置及び運営訓練の開催	・年1回開催 ・職員の必要なノウハウの取得 ・市民の防災、減災意識の啓発及び人材育成	・職員20名、ボランティア7名参加
(7) 外出支援（福祉移送サービスカー）事業	① 福祉移送サービスカー貸与事業の実施	(ア) 福祉車両の貸与 ・福祉車両の貸出 ・利用登録者数 46名 ・利用回数 301回 (内訳) きらめき号：109回 こじか号：192回 (イ) 車両運転士の派遣 ・福祉車両へ運転士の派遣 派遣回数 121回
(8) たすけあいサービス事業	① (ア) ヘアカットサービス事業の実施 ・理美容組合との共催事業。	・利用登録者数 58名 (内訳) 理容：22名 ・ 美容：36名 ・実施回数 85回 (内訳) 理容：延42回 ・ 美容：延43回 ・協力店舗数 12店舗 (内訳) 理容：7店舗 ・ 美容：5店舗

令和4年度事業計画		計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
②	(ア) 友愛はがき事業の実施	・事業廃止	・対象者減少により事業廃止
③	(ア) 保育サービス事業の実施	・ボランティアによる月2回の一時保育サービス	・令和4年度活動なし。 令和4年度をもって活動終了となった。
④	(ア) ひとり親家庭支援事業の実施	・市内個店の協力による、ひとり親家庭をを対象とした金券の配付 ・申込140世帯	・申込144世帯、配付世帯133世帯 ・配付額 世帯割3,500円、子ども1人につき500円加算 発行枚数1,106枚 利用枚数1,105枚
⑤	(ア) フードバンク事業の実施	・ボランティアによる月1回の食料受け取り会の実施	・夏休みの時期に、学校で就学支援制度利用世帯への食糧配付を実施した。 ・食品の提供 58件 (生保つなぎ及び受給中36件、障害者8件)
(9) 歳末たすけあい義援金配分事業			
①	(ア) 歳末たすけあい義援金配分事業の実施	支援を必要とする低所得世帯等に、	低所得世帯 152世帯 ・ 遺児 9世帯 (22人) (資料編P22参照)
(10) 経済的支援事業			
① 低所得世帯生計援助資金貸付事業			
(ア)	低所得世帯生計援助資金貸付事業の実施	・世帯50,000円を限度とした貸付。	・貸付件数14件 ・ 貸付金額550,000円
(イ)	償還指導の充実による自立支援	・償還指導と督促の実施。	・全債務者に対しての督促は行っていないが。近年の滞納者については訪問し償還指導を行った。
② 生活福祉資金貸付事業			
(ア)	生活福祉資金貸付事業の実施	・県受託事業	・コロナ特例貸付は9月に終了したが、貸付に関する相談は10月から174件(月平均29件)とコロナ前と比べると大幅に増加している。 (資料編P22参照)
(イ)	償還指導の充実による自立支援	・3か月に1度の通知と年1回の訪問を行う。	・3か月に1度の通知と7世帯の訪問を行った。
③ 彩の国あんしんセーフティーネット事業			
(ア)	関係機関との連携強化	・相談員との連携	・1件56,855円
④ 相談機能の強化			
(ア)	事例検討会の実施	・月2回の開催	・職員から事例提供を受け、合計7回実施した。

令和4年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
(11) 権利擁護事業		
① 福祉サービス利用援助事業 (あんしんサポートねっと)		
(ア) 福祉サービス利用援助事業の実施	・ 県社協受託事業	・ 新規7名、解約5名 ・ 年度末契約人数21名
(イ) 生活支援員連絡会の開催	・ 年1回の開催 ・ 県主催の研修会への参加	連絡会の開催 ・ 支援員への依頼事項及び支援方法を伝達した。 研修会への参加 ・ 埼玉県社協制作の動画視聴により研修を行った。
(ウ) 福祉サービス利用援助事業の周知	・ ホームページ等による周知	・ 地域包括支援センター社会福祉士連絡会にて事業説明等を行った。
② 法人後見事業		
(ア) 法人後見事業の実施	・ 後見人等の受任	・ 年度末受任件数19件
(イ) 法人後見運営委員会の開催 (年4回)	・ 年4回開催	・ 4回開催済。内2回はオンライン開催。
(ウ) 後見支援員のスキルアップ研修の実施	・ 年1回の開催 ・ 県主催の研修会への参加	連絡会の開催 ・ 支援員への依頼事項及び支援方法を伝達した。 研修会への参加 ・ 埼玉県社協制作の動画視聴により研修を行った。
(エ) 法人後見事業の周知	・ パンフレット及びホームページ等による周知	・ 事業周知用パンフレットを作成した。 ・ 地域包括支援センター社会福祉士連絡会にて事業説明等を行った。
③ 成年後見推進事業の実施 (市受託事業)		
(ア) 市民後見員養成講座 (基礎編)	・ 市民後見人の育成を目的に4日間の講座を開催 ・ 参加者30名	・ 感染症の状況を勘案し、会場のほかオンライン併用のハイブリッド方式により、1~2月にかけて実施した。 ・ 参加者10名、修了者10名
(イ) 市民後見人フォローアップ講座の実施	・ 受託事業、年1回開催	・ 3月に「飯能市社協における法人後見事業の現状と成年後見制度について」のテーマで成年後見制度を再点検するとともに、パンフレットを配布した。 ・ 参加者20名

令和4年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
④ 成年後見支援センター事業の実施 (市受託事業)		
(ア) 成年後見相談会の開催	・受託事業、年1回開催	・司法書士による相談会を実施、4件の相談を受けた。
(イ) 成年後見制度に関する周知及び啓発		・社協だより、市広報、ホームページにより周知を図った。
⑤ (ア) 市民よろず相談の開催	・月1回の開催	・12回実施 ・相談件数(延)144件
(12) 基幹型地域包括支援センター事業 (飯能市受託事業)		
① 地域包括支援センターの後方支援と総合調整		
(ア) 困難事例・虐待事例の対応と支援	・地域型地域包括支援センター、市役所及び関係機関と連携し、適切かつ迅速に対応する。	・基幹型地域包括支援センターに寄せられた相談について地域型地域包括支援センター、市役所及び関係機関と連携し、対応した。相談件数175件(実数)
(イ) 高齢者支援のためのネットワーク形成	・関連機関及び団体と連携を図り会議や研修会を開催する。	・飯能市消費生活相談センターと連携し「消費者被害防止に関する研修会」を開催した。参加者数45名
(ウ) 介護予防支援事業及び介護予防ケアマネジメント事業の実施	要支援1・2及び事業対象者に対し、自立支援・介護予防の視点で支援サービス等をマネジメントし、利用者の自立を支援する。	・自立支援を見据え、事例検討会を年4回実施するための参加と協力をした。 ・ケアプラン適正化事業に対してケアプラン確認指導会への参加と協力をした。 ・自立支援の視点でマネジメントできるよう「マイプラン作成」について研修会を実施するため企画、協力をした。
(エ) 地域包括支援センター連絡会議の定期開催(年6回)	・年6回開催する。 ・介護保険事業計画の状況の共有を図る。 ・業務上の課題等について協議や意見交換をすすめる。	・年6回開催した。 ・介護保険事業計画の評価をするとともに、本会議のあり方や進め方について協議や意見交換を行った。
② 地域ケア会議の開催		
(ア) 自立支援型地域ケア会議の開催	自立支援型地域ケア会議を開催し、介護サービスの適正な利用と総合事業における介護予防・生活支援サービスを充実させる。 ・自立支援型地域ケア会議(月1回)の実施 ・自立支援型地域ケア会議検討会(年2回)の実施	・自立支援型地域ケア会議とその後に行う評価を保険者と各地域包括支援センターと実施した(毎月1回)。実施回数12回 事例提供35件 モニタリング24件 ・アドバイザーである専門職と自立支援型地域ケア会議検討会(年2回)を実施した。 実施回数1回

令和4年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
③ 市が実施する認知症施策への協力		
(ア) 認知症地域支援推進員連絡会への参加	<p>地域の認知症高齢者やその家族からの相談に対応する「認知症地域支援推進員」の設置により、医療、介護、生活支援サービスと有機的に連携したネットワークを構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症地域支援推進員連絡会への参加（月1回）</li> <li>・ 地域型地域包括支援センターが実施する認知症に関する事業の後方支援を行う。</li> <li>・ 認知症高齢者が地域で生活するための見守り体制づくりを検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症地域支援推進員連絡会に参加した。（月1回 12回）</li> <li>・ 「認知症サポーターステップアップ講座」を開催した。参加者 9名</li> <li>・ 「若年のつどい・飯能」に参加した。</li> <li>・ 「認知症ケアパス概要版」の改定について検討した。</li> <li>・ 介護保険事業計画（第8期）認知症施策の検討や事業を企画・提案をした。</li> </ul>
(イ) 認知症初期集中支援事業への参加	<p>認知症専門医の指導のもと、複数の専門職がチーム員として地域の認知症高齢者の初期支援を包括的、集中的に行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症初期集中支援チームによる認知症の方や家族への支援を行う。</li> <li>・ チーム対象者、チーム員、地域包括支援センター、介護福祉課の連絡調整や全体の進捗管理を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症初期集中支援チーム検討会議に参加した。（年2回）</li> <li>・ 認知症初期集中支援チーム員会議に参加した。（年12回）</li> <li>・ 事業のモニタリングや評価を行い、今後の体制強化について検討した。</li> <li>・ 本事業が円滑に運営できるようチーム員との調整を図った。</li> </ul>
(ウ) 認知症サポーター養成講座の開催支援	<p>より多くの市民が認知症という病気についての正しい知識を持ち、認知症の人や家族の気持ちを理解し、対応出来るよう市民への啓発活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域包括支援センターが行う担当地域で開催する際の開催支援を行う。</li> <li>・ ステップアップ講座について内容や方法を介護福祉課とともに検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域包括支援センターが担当地域で開催する際の開催支援を行った。</li> <li>・ ステップアップ講座について内容や方法を介護福祉課とともに検討した。</li> </ul>

令和4年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
④	多職種連携座談会飯能・日高地区ワールドカフェの運営支援	
(7) 事務局としての支援	<p>飯能・日高地区における「地域包括ケアシステム」の実現のために、顔が見える関係の構築や在宅医療・福祉の連携を目的に、研修会や地域住民を対象とした市民フォーラムなどを企画・開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役員会の実施（年6回）</li> <li>・部会（ワールドカフェ部会・市民フォーラム部会）への支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員会の開催（奇数月） 開催回数 5回</li> <li>・部会の開催（不定期）</li> <li>ワールドカフェ部会 開催回数 7回</li> <li>市民フォーラム部会 開催回数 4回</li> <li>・飯能市・日高市在勤の多職種を対象に第14回ワールドカフェ「ハラスメントから身を守るために」をオンライン開催した。</li> <li>参加者 65名</li> <li>・第15回ワールドカフェ「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）について考えよう」をオンライン開催した。</li> <li>参加者 62名</li> <li>・第8回市民フォーラム「ヤングケアラーを知っていますか？」をテーマに講演及び体験談を飯能日高ケーブルテレビで7日間放映。</li> </ul>
(イ) 取組事業の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部会（ワールドカフェ部会・市民フォーラム部会）で開催する事業について支援する。</li> <li>・ワールドカフェ部会…オンラインでのワールドカフェ開催（年2回）</li> <li>・市民フォーラム部会…ケーブルテレビによる放映（年1回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同上</li> </ul>

令和4年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
(13) 居宅介護支援事業 (けあ・しゃきょう)		
① 居宅介護支援事業の実施		
(ア) 居宅介護支援事業	・介護保険法に則り適正なサービスの提供	・契約件数126件
(イ) 介護予防支援事業 (受託)	・介護保険法に則り適正なサービスの提供	・受託件数4件
(ウ) 介護予防ケアマネジメント事業 (受託)	・介護保険法に則り適正なサービスの提供	・受託件数2件
(エ) 質の高いケアマネジメントの提供及び安定した事業所運営の継続に向けた取組	・ケアマネジメント技術は常に研鑽が必要なため研修会への積極的な参加。 ・安定した事業所運営の継続については経営指針に沿った事業所運営を職員全員で意識して運営にあたる。	・特定加算が得られるよう、計画的かつ積極的に参加するとともに研修記録を作成した。 ・経営指針は全担当職員で共有、結果、増収につなげることができた。
② 地域貢献の取組		
(ア) 支援困難高齢者の受け入れとケアマネジメントの提供	・地域包括支援センターからの困難ケースなどについて無理のない範囲で受け入れる。	・困難ケースの受け入れについては、基幹型地域包括支援センターからの依頼は基本対応した。
(イ) 飯能市介護支援専門員協議会実行委員会・防災分科会への参加及び協力	・実行委員会へは担当ケアマネを指定して参加する。	・担当職員を配置し、定例会に毎回参加し市内事業所との情報共有に務めた。

令和4年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
(14) 広報啓発事業		
① 情報発信事業		
(ア) 社協だよりの発行	<ul style="list-style-type: none"> <li>発行回数 3回 (5、7、12月)</li> <li>ふくしの森プランに関連した地域活動の紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社協だよりの発行 3回</li> <li>地域福祉推進に関するトピックとして下記の活動を一面に掲載 <ul style="list-style-type: none"> <li>[5月号] あったか♥バンク飯能 (飯能市社会福祉法人地域公益活動等連絡会)</li> <li>[7月号] えんがわサロン松原 (加治東ふれあい広場)</li> <li>[12月号] きまぐれ駄菓子屋 ( (一社) カプリチョーン)</li> </ul> </li> </ul>
(イ) 社協ガイドブック2022 (詳細・概要) の発行	社協ガイドブック (詳細・概要版) 発行	詳細版450部、概要版600部発行
(ウ) インターネットを活用した情報発信	令和5年度のホームページリニューアルに向けた移行作業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年4月HPリニューアル運用開始に向けて作業を実施した。</li> <li>SNSによる情報発信。 <ul style="list-style-type: none"> <li>LINE公式アカウント <ul style="list-style-type: none"> <li>配信回数 93回 ・ 登録者 304人</li> </ul> </li> <li>Facebook <ul style="list-style-type: none"> <li>配信回数 58回 ・ フォロワー 280人</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
(エ) 広報委員会	広報委員会の役割及び目的の見直し	企業に向けた広報紙の発行に関する検討を行った。
② 飯能市社会福祉大会の開催		
(ア) 社会福祉功労者表彰	飯能市社会福祉大会にて表彰	<ul style="list-style-type: none"> <li>2月26日 (日) に開催</li> <li>社会福祉事業功労者 15人・1団体</li> <li>福祉のまちづくり表彰 1人</li> <li>多額寄付者 1団体</li> <li>埼玉県共同募金会飯能市支会支会長感謝 3人・3団体</li> </ul>

令和4年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
【指定管理部門】		
(1) 身体障害者福祉センター		
① 相談支援の充実		
(ア) 相談支援対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センター開所日に実施</li> <li>・相談内容に応じ、本会内及び関係機関との連携強化</li> <li>☆実績把握のために、相談内容の記録作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動支援センターの利用者を中心に4件対応した。</li> </ul>
② 機能回復のための各種訓練等		
(ア) 理学療法士指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理学療法士の指導により、日常生活に必要な機能の回復及びその低下防止を目的に訓練を実施</li> <li>・月1回、参加者数毎月15名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12回実施 延べ112人参加</li> <li>・地域活動支援センター事業</li> </ul>
(イ) 療育音楽教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽療法士の指導により、楽器や発声訓練を通じて日常生活に必要な機能の回復及びその低下防止を目的に実施</li> <li>・月2回、参加者数毎回6名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20回実施 延べ60人参加</li> <li>・地域活動支援センター事業</li> </ul>
(ウ) 機能回復訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活に必要な機能の回復及びその低下防止を目的に理学療法士が利用者個別に作成したプログラムに基づき、看護師が指導</li> <li>・火曜日～金曜日、午前に実施</li> <li>・参加者数毎月20名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・153回実施 延べ525人参加</li> <li>・地域活動支援センター事業</li> </ul>
(エ) ヘビーハンズ教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門の講師による有酸素運動や筋トレ実施</li> <li>・月1回、参加者数毎月8名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・22回実施 延べ125人参加</li> <li>・地域活動支援センター事業</li> </ul>
(オ) 生活行動訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者の日常生活に必要な外出行動の訓練及び参加者の交流</li> <li>・年1回、参加者数10名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染防止のため、開催しなかった。</li> </ul>
(カ) 送迎サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動支援センター利用者の送迎</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・818回実施 延べ1,389人参加</li> </ul>

令和4年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
③ 障害者スポーツ・レクリエーション活動及び創作的活動の普及	<p>(ア) 福祉スポーツ大会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パラスポーツ等の実施により、市民参加による障害者及びその家族との相互理解及び相互交流の深耕</li> <li>・年1回、参加者数200名</li> </ul> <p>(イ) パラスポーツ体験会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パラスポーツ「ボッチャ」の普及及び競技指導者の育成</li> <li>・年1回、参加者数20名</li> </ul> <p>(ウ) パラスポーツ教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パラスポーツ「ボッチャ」の普及及び参加者の相互親睦の深耕</li> <li>・月1回、参加者数毎月15名</li> </ul> <p>(エ) 障害児者造形教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・創作活動による社会参加の機会の提供及び参加者家族の交流の促進</li> <li>・毎月2回、参加者数毎回6名</li> </ul> <p>(オ) 書道教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・創作活動による社会参加の機会の提供</li> <li>・毎月2回、参加者数毎回6名</li> </ul> <p>(カ) レクリエーション教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機能訓練の一環としてグラウンドゴルフを実施</li> <li>・月1回、参加者数5名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施に向けて準備を進めていたが、コロナウイルス感染拡大のため中止した。</li> <li>・市内障害者施設職員を対象に企画したが、参加申込者がなく、開催しなかった。</li> <li>・9回実施 延べ103人参加</li> <li>・9回実施 延べ59人参加</li> <li>・1日の前半を成人の部、後半を児童の部で実施した。</li> <li>・19回実施 延べ108人参加</li> <li>・地域活動支援センター事業</li> <li>・3回実施 延べ9人参加</li> <li>・夏季、冬季を避けた他、参加者無しの月もあり、予定以下の回数となった。</li> </ul>
④ ボランティアの養成及びボランティア活動の支援	<p>(ア) 手話奉仕員養成講座入門課程</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆厚生労働省で定めるカリキュラムにより開催</li> <li>・聴覚障害や手話の理解</li> <li>・将来的な手話奉仕員や通訳者の人材育成を目指す。</li> <li>・年2回（昼・夜、各18回）参加者数15名</li> </ul> <p>(イ) 手話奉仕員養成講座基礎課程</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆厚生労働省で定めるカリキュラムによる開催</li> <li>・入門課程修了者対象</li> <li>・手話理解の深耕及び特定の聴覚障害者との手話による日常会話の習得</li> <li>・将来的に通訳者の人材育成を目指す。</li> <li>・年2回（昼・夜、各23回）</li> </ul> <p>(ウ) 点訳ボランティアはじめの一步講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障害や点訳の理解及び点訳ボランティアの育成</li> <li>・年1回（5回コース）参加者数10名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・35回実施（昼17回・夜18回）</li> <li>※講師都合で昼は回数減。</li> <li>・延べ409人参加（昼162人・夜247人）</li> <li>・修了者のほとんどが基礎課程に進んだ。</li> <li>・46回実施（昼23回・夜23回）</li> <li>・延べ532人参加（昼278人・夜254人）</li> <li>・多くの方が手話サークルに加入し、今後の活動に繋がることができた。</li> <li>・5回実施 延べ24人参加</li> </ul>

令和4年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
⑤ 交流事業の推進	(ア) 福祉スポーツ大会 (再掲) ・ パラスポーツ等の実施により、市民参加による障害者及びその家族との相互理解及び相互交流の深耕 ・ 年1回、参加者数200名	・ 実施に向けて準備を進めていたが、コロナウイルス感染拡大のため中止
⑥ 啓発の充実	(ア) パラスポーツ体験会 (再掲) ・ パラスポーツ「ボッチャ」の普及及び競技指導者の育成 ・ 年1回、参加者数20名	・ 市内障害者施設職員を対象に企画したが、参加申込者がなく、開催しなかった。
⑦ 障害に配慮したきめ細やかな対応	(ア) 聴覚障害者窓口総合支援のための遠隔手話タブレット端末設置 ・ 聴覚障害者来館時のコミュニケーションツールとして設置 ・ 年間利用20件 (イ) 車いす無料貸与事業 ・ けが、病気等により一時的に車いすが必要な方に最大3か月間無料貸与。 ・ 貸与にあたり、点検整備を常時実施	・ 1回 1人 ・ 93回 延べ 93人
(2) 老人福祉センター		
① 生活、健康等の相談及び見守り	(ア) 腰痛・ひざ痛の予防講座 ・ 専門講師からロコモティブに関する講義及び実践を学び、運動機能の低下防止と生活の質の維持向上を図る。 ・ 年1回、参加者数30名 (イ) ごきげん体操 ・ 通年で実施	・ 2回実施 延べ 63人参加 ・ 2日間開催で、初日に腰痛、二日目にひざ痛予防を座学と実技の内容で開催した。 ・ 利用者減のため実施しなかった。

令和4年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
② 教養の向上及びレクリエーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>(ア) シニアかんたんヒップホップ教室</li> <li>(イ) スマートフォン活用講座</li> <li>(ウ) ノルディックウォーク体験講座</li> <li>(エ) みんなで踊ろう！フォークダンス</li> <li>(オ) 俳句講座</li> <li>(カ) 終活講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門の指導者による、様々なことを楽しみながら学ぶ機会の提供</li> <li>・講座参加による社会参加、教養の向上、介護予防、仲間づくりを目指す。</li> <li>(ア)年4回、参加者数20名</li> <li>(イ)年4回、参加者数20名</li> <li>(ウ)年1回、参加者数各20名</li> <li>(エ)年3回、参加者数各15名</li> <li>(オ)年6回、参加者数20名</li> <li>(カ)年3回、参加者数20名</li> </ul>
③ 生きがいづくり活動の支援	(ア) 創作品展	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1回(4日)実施 延べ69人参加</li> <li>・終了者の活動場所として、既存グループとは別にグループが立ち上がった。</li> <li>・3回(各2日) 延べ45人</li> <li>・1回(2日)実施 延べ25人参加</li> <li>・大会議室や屋上を使用して、実技を中心に開催した。</li> <li>・1回(4日)実施 延べ52人参加</li> <li>・コロナ禍のため、手をつなぐなどの接触を減らし等の工夫をして開催した。</li> <li>・1回(2日)実施 延べ34人参加</li> <li>・新規事業として実施。</li> <li>・講座修了後クラブが立ち上がり、自主活動に至る。</li> <li>・1回(3日) 延べ50人</li> <li>・市内葬祭業者の協力により初めて開催した。</li> </ul>
④ 地域高齢者リーダーの育成	(ア) 総合福祉センター発表会2022	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館内活動団体の作品の展示の場の提供による活動意欲の向上及び生きがいづくりへの寄与</li> <li>・8回実施 延べ114人参加</li> <li>・6団体(6種目)についてそれぞれ期間を決めて、福祉センターロビーに展示を行った。</li> <li>・センター利用団体の発表の機会の創出</li> <li>・実施にあたり可能な限り自主運営となるよう、利用者のリーダーシップを促進</li> <li>・1回実施 80人参加</li> <li>・3年ぶりの開催となったが、6団体の参加により、集会所で開催した。</li> </ul>

令和4年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
(3) 児童センター		
① 遊びの提供		
(ア) 工作ひろば	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工作の場を常設し、毎月特定の期間でテーマを設定</li> <li>・年間参加者1,080名以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・279回実施 延べ1,818人参加</li> </ul>
(イ) 小学生タイム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者とのコミュニケーションを図る</li> <li>・子どもの居場所づくりのきっかけ作り</li> <li>・長縄やホッピング、竹馬、貸し出しおもちゃ等での遊びの実施</li> <li>・毎月1回、年間参加者84名以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10回実施 延べ114人参加</li> </ul>
(ウ) 児童センター〇×クイズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クイズを通じて児童センターの利用ルールを啓発、併せてモラル向上による快適な遊び場の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・16回実施 延べ70人参加</li> </ul>
(エ) なぞなぞ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リピーター獲得を目的に、特定期間、継続的にクイズを出題</li> <li>・6月に21日間実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・19回実施 延べ120人参加</li> </ul>
(オ) ハロウィンウィーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節のイベントを継続的に実施、体験による豊かな心の醸成とリピーターの獲得</li> <li>・10月に20日間実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・19回実施 延べ222人参加</li> <li>・壁面にかぼちゃの絵を貼り、季節感のある雰囲気作りに努めた。</li> </ul>
(カ) 脳トレゲーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リピーター獲得を目的に、特定期間、継続的にクイズを出題</li> <li>・12月～1月に14日間実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12回実施 延べ117人参加</li> <li>・「まちがいさがし」を実施した。</li> </ul>
(キ) 新春お正月遊び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の伝統的な遊びを通じて文化由来の学びと次世代への継承</li> <li>・年初に開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2回実施 延べ20人参加</li> <li>・友達や親子と一緒に楽しく挑戦することができるよう、羽根つき、コマ回し、けん玉などを用意した。</li> </ul>

令和4年度事業計画		計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
	(ク) れんそうゲーム	・リピーター獲得を目的に、特定期間、継続的にクイズを出題 ・2月に26日間実施	・25回実施 延べ181人参加
	(ケ) イースターエッグをさがそう	・リピーター獲得を目的に、特定期間、継続的にクイズを出題 ・3月に13日間実施	・13回実施 延べ233人参加 ・壁面にイースターエッグの絵を貼り、季節感のある雰囲気を作り努めた。
②	健康の増進		
	(ア) げんきっず	・講師の指導の下、器具等を使用した運動遊びを通して、親子のふれあいや心身の健康増進と共に親子の愛着の深耕を図る。 (ア)毎月1回、参加者数各回3組	・11回実施 延べ72人参加
	(イ) キッズたいそう		・12回実施 延べ154人参加
	(ウ) トコトコキッズたいそう	(イ)3期 (各期4回)、参加者各10組 (ウ)3期 (各期2回)、参加者数各10組	・6回実施 延べ61人参加
	(エ) かんたん！スポーツテスト！	・小学生以上を対象とした体力づくりを目的とした体力測定の実施 ・毎月1回、参加者数年間70名	・8回実施 延べ67人参加
	(オ) 子どもハイキング	・飯能の自然に触れ、歩く楽しさを味わう ・11月実施、参加者数12名	・1回実施 3人参加 目的地 宮沢湖周辺のハイキングコース

令和4年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
③ 豊かな情操の育み		
(ア) おはなしタイム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員による親子手遊び、ふれあい遊び、歌遊び</li> <li>・開館時随時実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・46回実施 延べ310人参加</li> </ul>
(イ) 子ども習字教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校休業期間中に実施</li> <li>・創作活動や日本の伝統文化に触れることにより心の豊か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1回実施 10人参加</li> </ul>
(ウ) 夏休み将棋教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>さを醸成する</li> <li>(イ)夏1回、参加者数10名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3回実施 延べ24人参加</li> </ul>
(エ) 絵画教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>(ウ)夏1回(3日間)、参加者数8名</li> <li>(エ)夏2回、参加者数各10名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2回実施 延べ12人参加</li> </ul>
(オ) 陶芸教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>(オ)夏3回、参加者数各10名</li> <li>(カ)夏2回・春1回、参加者数各8名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3回実施 延べ30人参加</li> </ul>
(カ) サイエンスクラブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>(キ)冬1回、参加者数12名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3回実施 延べ24人参加</li> <li>・講師の指導のもと、8月は磁石の性質に関わる実験と30倍のマイクロスコープを使った実験を、3月はドライアイスを使った実験を実施した。</li> </ul>
(キ) 子ども書初め教室		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1回実施 7人参加</li> </ul>
④ 子育て家庭の支援		
(ア) おすわりフォト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの成長を感じ喜ぶことで、親子の愛着形成を促す</li> <li>・月3回程度、参加者数各5組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・30回実施 延べ388人参加</li> </ul>
(イ) おそとであそぼ!	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋上で遊具や体操などの外遊び</li> <li>・年2回、参加者数各5組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3回実施 延べ10人参加</li> </ul>

令和4年度事業計画		計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
(ウ)	3さいひろば	・発達に応じた遊びの提供による発達の促し ・親子での様々な経験による親子の愛着形成の促進	・3回(各4日)実施 延べ165人参加
(エ)	2さいひろば	(ウ)3期(各期4回)、参加者数各10組 (エ)3期(各期3回)、参加者数各10組	・3回(各3日)実施 延べ98人参加
(オ)	1さいひろば	(オ)3期(各期3回)、参加者数各6期 (カ)4期(各期1回)、参加者数各5組	・5回実施 延べ38人参加
(カ)	0さいひろば		・4回実施 延べ48人参加
⑤ 地域との連携、市民との協働			
(ア)	おもちゃの病院	・おもちゃドクター(ボランティア)による、壊れたおもちゃの修理 ・偶数月、受入れおもちゃ各15個 ☆美杉台児童館でおもちゃドクター養成講座実施	・6回実施 延べ修理依頼48点 ・飯能市おもちゃの病院ボランティアと入間市おもちゃの病院ボランティアがおもちゃを修理した。
(イ)	子ども将棋クラブ	・日本伝統文化を継続的に学ぶことによる集中力や思考力の醸成を図る ・通年実施、参加者数8名	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催しなかった。
(ウ)	ミニサイエンスクラブ	・科学実験の体験による、科学への興味の促しを図る ・不定期開催	・11回実施 延べ68人参加 ・ボランティアの指導のもと、実際に実験や製作を行うことで「科学の不思議さ」を体験することができた。
(エ)	遊びのひろば「かざぐるま」	・幼児向けに、ボランティアグループによる読み聞かせや歌遊び、大型紙芝居などの公演 ・年1回、参加者数10名以上	・1回実施 16人参加
(オ)	遊びのたんけん隊	・小学生を対象にした、ボランティアグループによる工作活動や運動、ゲームの実施 ・夏/春各1回、参加者数各8名	・2回実施 延べ14人参加 ・ボランティアの指導のもと、夏は「マジックハンド」、春は「いろんなひこうき」を制作しそれで遊んだ。

令和4年度事業計画		計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
	(カ) みんなの自習室	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生の学習のつまずきの解消の一助を目的に実施</li> <li>学校教員経験者（ボランティア）及び職員と参加者の関係構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4回実施 延べ13人参加</li> <li>意欲的に学習に取り組み自分の課題に向き合った。</li> </ul>
	(キ) 児童センターボランティア体験	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生以上対象、児童センター業務のボランティア体験</li> <li>随時、1名程度の受け入れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>7回実施 延べ7人参加</li> <li>児童センターで行う事業の準備等を中心に業務体験をしてもらった。</li> </ul>
⑥ 児童の居場所の提供			
	(ア) ハッピーバースデー	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の誕生日を祝うことによる自己肯定感の育成</li> <li>開館中自己申告により随時対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>50回実施 延べ123人参加</li> </ul>
	(イ) イベントスタッフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学3年生以上対象、児童センターでのイベントの企画、運営</li> <li>5月～3月、参加者8名</li> </ul>	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催しなかった。
	(ウ) イベスタゲーム大会	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベントスタッフ企画によるゲーム大会</li> <li>夏・春各1回、参加者各15名以上</li> </ul>	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催しなかった。
	(エ) わくわくクリスマスパーティー	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベントスタッフ企画によるクリスマスパーティー</li> <li>年1回（12月）、参加者12名以上</li> </ul>	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催しなかった。
(4) 美杉台児童館			
① 遊びの提供			
	(ア) みんなであそぼう	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーション能力、想像力を高められるよう、造形活動や遊びを提供</li> <li>不定期、実施時10名以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>40回実施 延べ460人参加</li> <li>七夕や正月遊び、節分の鬼退治ゲームなど季節感のある遊びや折り紙など簡単な工作を実施した。</li> </ul>
	(イ) おやこパラスポーツ体験教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>親子での様々な経験による親子の愛着形成の促進及び障害者理解の深耕</li> <li>夏/春各1回、参加者数各20人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1回実施 9人参加</li> <li>パラスポーツのポッチャを親子で体験、感染防止のため少人数で開催した。</li> </ul>
	(ウ) 昔あそびタイム	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアがわらべうたやまりつき等の昔あそびを提供</li> </ul>	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催しなかった。
	(エ) 科学遊び	<ul style="list-style-type: none"> <li>科学実験の体験による、科学への興味の促しを図る</li> <li>夏/冬各1回、参加者各6人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2回実施 延べ10人参加</li> <li>自然科学をテーマに空気の動きである風の実験等を体験した。</li> </ul>

令和4年度事業計画		計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
	(オ) ハロウィンウィーク	・季節のイベントを継続的に実施、体験による豊かな心の醸成とリピーターの獲得 ・10月に6日間実施	・6回実施 延べ96人参加 ・館内に設置したハロウィンのキーワードを探す簡単なロゲイニングを実施した。
	(カ) クイズにチャレンジ	・リピーター獲得を目的に、継続的にクイズを出題 ・通年実施	・68回実施 延べ686人参加 ・月替わりでなぞなぞやまちがい探しクイズなどを実施した。
② 健康の増進			
	(ア) ママと赤ちゃんのリラクスタイム	・0~1歳児親子を対象に、親子の絆の深耕と心身の健康のため、ヨガインストラクター指導による、ベビーマッサージ及びママヨガの実施 ・年6回、参加者各8組	・6回実施 延べ85人参加
	(イ) 3B体操	・講師の指導の下、器具等を使用した運動遊びを通して、親子のふれあいや心身の健康増進と共に親子の愛着の深耕を図る。 (イ)年6回、参加者10組 2歳児親子対象 (ウ)年6回、参加者10組 3歳児親子対象 (エ)年5回、参加者10組 2歳児親子対象	・6回実施 延べ105人参加
	(ウ) 親子リズム体操		・6回実施 延べ95人参加
	(エ) ちびっこ体操		・5回実施 延べ86人参加
	(オ) わくわく体操	(オ)通年不定期	・14回実施 延べ89人参加 ・事業がない日に職員が担当してやさしい体操を来館者へ提供した。

令和4年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
③ 豊かな情操の育み		
(ア) 誰でも描ける水彩画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校夏季休業期間中に実施</li> <li>・創作活動や文化イベントに触れることにより心の豊かさを醸成する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1回実施 7人参加</li> </ul>
(イ) 陶芸教室	(ア)夏1回、参加者数7名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3回実施 24人参加</li> <li>・参加希望者多数のため、受入数を増やして開催した。</li> </ul>
(ウ) レザークラフト教室	(イ)夏3回、参加者数各7名 (ウ)夏1回、参加者数7名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1回実施 7人参加</li> </ul>
(エ) お楽しみイベント	(エ)夏1回、参加者数100名 (オ)夏1回、参加者数7名	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催しなかった。
(オ) スイーツデコ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1回実施 延べ7人参加</li> </ul>
(カ) リトミック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を通じた遊びにより、親子のふれあいや心身の健康増進と共に親子の愛着の深耕を図る</li> <li>・年5回、参加者10組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5回実施 延べ93人参加</li> </ul>
(キ) 日本の文学で楽しもう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校休業期間中に、学習支援ボランティアの協力により中学生向けの体験事業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1回実施 延べ2人参加</li> <li>・平家物語を題材にした。</li> </ul>
(ク) 浴衣の着付け体験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創作活動や日本の伝統文化に触れることにより心の豊かさを醸成する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1回実施 延べ7人参加</li> </ul>
(ケ) ソロバン体験	(キ)夏1回、参加者数7名 (ク)夏1回、参加者数7名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1回実施 4人参加</li> </ul>
(コ) スライムをつくろう	(ケ)夏1回、参加者数7名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3回実施 延べ11人参加</li> </ul>
(サ) 紙すき体験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みチャレンジとして夏季休業期間中に、職員により実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1回実施 2人参加</li> </ul>
(シ) 大型折り紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リピーター獲得を目的に、日常で体験できない活動の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2回実施 延べ3人</li> </ul>

令和4年度事業計画		計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
	㊸ ピーズクラフト体験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規で中学生向けに学校休業（春休み）期間中に、学習支援ボランティアの協力により実施</li> <li>・創作活動や日本の伝統文化に触れることによる心の豊かさの醸成を図る。</li> <li>・共に1回、参加者数7名</li> </ul>	・1回実施 4人参加
	㊹ 茶道体験		・1回実施 3人参加
	㊺ 百人一首講座		・1回実施 延べ6人参加
④ 子育て家庭の支援			
	(ア) 1さいくらぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達に応じた遊びの提供による発達の促し</li> <li>・親子での様々な経験による親子の愛着形成の促進</li> </ul>	・2回（各3日）実施 延べ57人参加
	(イ) 2さいくらぶ		・1回（6日）実施 延べ109人参加
	(ウ) 3さいくらぶ		・1回（6日）実施 延べ106人参加
	(エ) メイプルルーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未就園児の居場所として、親子間及び保護者同士の交流を図る。</li> <li>・毎月1回、参加者数4組</li> </ul>	・10回実施 延べ139人参加
	(オ) ハッピータイム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽や体操を通じて、親子のふれあいや心身の健康増進と共に親子の愛着の深耕を図る。</li> <li>・1期（4回）、参加者数10組</li> </ul>	・4回実施 延べ73人参加
	(カ) 防犯教室	・児童の安全向上のために防犯教室を開催	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催しなかった。

令和4年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
⑤ 地域との連携、市民との協働	<p>(ア) おはなしの会「くれよん」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアグループによる読み聞かせ</li> <li>・月1回、参加者数各4組</li> </ul> <p>(イ) 「地元グループ」公演</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアグループによるエプロンシアターや影絵、人形劇等の提供</li> </ul> <p>(ウ) おもちゃの病院</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おもちゃドクター（ボランティア）による、壊れたおもちゃの修理</li> <li>・奇数月、受入れおもちゃ各15個</li> </ul> <p>(エ) 子ども将棋クラブ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本伝統文化を継続的に学ぶことによる集中力や思考力の醸成を図る</li> <li>・通年実施、参加者数10名</li> </ul> <p>(オ) おはなしグランマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生を対象にしたボランティアグループによる読み聞かせ</li> <li>・月1回、参加者数各5人</li> </ul> <p>(カ) 児童館体験事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校や高校の依頼による、社会体験事業</li> <li>・学校の依頼により随時対応</li> </ul> <p>(キ) 子ども卓球クラブ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生以上の小学生を対象にした、地域のボランティアによる卓球指導</li> <li>・毎月2回、参加者数各10人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8回実施 延べ84人参加</li> </ul> <p>新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催しなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6回実施 延べ79人参加</li> <li>・ボランティアが少なくなってきたので養成講座を令和5年度に開催予定</li> </ul> <p>新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催しなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9回実施 延べ71人参加</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2回実施 30人参加</li> <li>・美杉台小たんぽぽ学級と飯能高校から依頼があり体験していただいた</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・17回実施 延べ98人参加</li> </ul>
⑥ 児童の居場所の提供	<p>(ア) スタディルーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生の学習のつまずきの解消の一助を目的に実施</li> <li>・学校教員経験者（ボランティア）との関係構築</li> </ul> <p>(イ) 児童館ボランティア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学4年生以上による児童館業務のボランティア体験</li> <li>・随時受け入れ</li> </ul> <p>(ウ) 新一年生集まれ！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の新小学1年生を対象に、施設の利用方法の周知を目的に実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・13回実施 延べ41人参加</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・13回実施 延べ19人参加</li> <li>・小中学生や高校生、大学生のボランティアも参加した。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5回実施 155人参加</li> </ul>

令和4年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
(5) 共催事業		
① 総合福祉センター内共催		
(ア) 交流七夕飾り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧七夕の時期に、総合福祉センター入り口に設置する七夕飾りの作成及び飾り付け</li> <li>・障害者、高齢者、児童対象</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロビーでの短冊作成 144人参加（工作ひろば内で実施）</li> <li>・七夕飾りの設置 終業式の日午後3時から実施し、計30人ほどが参加</li> </ul>
(イ) 交流モルック体験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モルックを通じた交流の深耕</li> <li>・障害者、高齢者、児童対象</li> </ul>	悪天候のため中止
② 児童センター・児童館共催		
(ア) 出前児童館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に出向き、普段来館が難しい方に向けた児童館事業の体験</li> </ul>	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催しなかった。
③ 他機関共催		
(ア) 親子木工教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子のふれあいの推進</li> <li>・地元の西川材に触れ、郷土愛を育成</li> <li>・夏休み、児童センターと東吾野地区行政センターの共催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東吾野地区の子どもの減少等に伴い、児童センター単独実施に変更して開催。開催にあたり、(福)おぶすま福祉会に講師を依頼した。</li> <li>・総参加者数は17人（7家庭で小学生10人）</li> </ul>
(イ) 子ども映画会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映画を通じた情操の育みを目的に実施</li> <li>・美杉台児童館と美杉台地区行政センターの共催</li> </ul>	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催しなかった。
(ウ) みんなの自習室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習支援を目的に、学校教員経験者（ボランティア）の協力により実施</li> <li>・夏休み、美杉台児童館と美杉台地区行政センターの共催</li> </ul>	・5回実施 延べ73人参加

令和4年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
(6) その他の取組み		
① 施設の管理、運営及び日常の危機管理		
(ア) 施設利用者参加による消防訓練の実施	・避難誘導訓練、消火訓練などの実施 (総合福祉センター・美杉台児童館ともに年2回)	美杉台児童館は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の対応で密集しないように調整して2回実施
② ネットワークの構築及び強化		
(ア) 子ども、保護者等からの相談対応機能の強化	・職員会議等で研修や情報共有を行い、職員の相談対応スキルの向上を図る。	・毎月定例で実施している職員会議において、児童館が利用者にとって悩み事などを話しやすい場になるよう、職員の共通認識を図った。
(イ) 学校、子育て支援拠点、地域福祉団体等とのネットワークの構築及び強化	・地域の小学校運営協議会や子育て支援拠点会議での情報交換の他、中学校や地域の福祉団体との情報共有に務め、ネットワークの強化に繋げる。	・美杉台小学校運営協議会に委員である館長が3回出席した。 ・市内各中学校に館長が訪問して中学生向け事業の説明と情報交換を行った。 ・子育て支援拠点会議に参加し、ネットワークの強化及び情報収集に務めた。